

---

# 2022年度 第3四半期決算説明会

2023年2月6日

日立造船株式会社

- **高水準の受注が継続**
- **Hitachi Zosen Inovaの継続的な業績改善と黒字定着**

- 高水準の受注が継続
- Hitachi Zosen Inovaの継続的な業績改善と黒字定着

(単位：億円)

	2021年度		2022年度				
	1-3Q	通期	1-3Q		通期		通期見通
	実績	実績	実績	前期比	見通し	前期比	進捗率
受注高	5,477	6,779	5,330	-147	6,600	-179	80.8%
売上高	2,880	4,417	3,314	434	4,800	383	69.0%
営業利益	25	155	58	33	200	45	29.0%
営業利益率	0.9%	3.5%	1.8%		4.2%		
経常利益	-3	117	35	38	160	43	21.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	-13	78	25	38	120	42	20.8%
ROE	6.1%		8.5%				

2022年度通期見通しの修正について：前回（11月）見通しから、次の通り修正を行った。

- 受注高：5,800億円から6,600億円（環境 +800億円）
- 当期純利益：100億円から120億円

# 2022年度 第3四半期決算 セグメント別受注高・売上高・営業利益

(単位：億円)

	2021年度		2022年度			
	1-3Q	通期	1-3Q		通期	
	実績	実績	実績	前期比	見通し	進捗率
<b>受注高</b>	<b>5,477</b>	<b>6,779</b>	<b>5,330</b>	<b>-147</b>	<b>6,600</b>	<b>80.8%</b>
環境	4,485	5,294	4,283	-202	5,100	84.0%
機械・インフラ	669	971	685	16	900	76.1%
脱炭素化	261	430	290	29	520	55.8%
その他	62	84	72	10	80	90.0%
<b>売上高</b>	<b>2,880</b>	<b>4,417</b>	<b>3,314</b>	<b>434</b>	<b>4,800</b>	<b>69.0%</b>
環境	1,955	3,072	2,319	364	3,370	68.8%
機械・インフラ	597	863	601	4	880	68.3%
脱炭素化	267	399	324	57	470	68.9%
その他	61	83	70	9	80	87.5%
<b>営業利益</b>	<b>25</b>	<b>155</b>	<b>58</b>	<b>33</b>	<b>200</b>	<b>29.0%</b>
環境	18	124	33	15	165	20.0%
機械・インフラ	10	22	13	3	28	46.4%
脱炭素化	-6	4	4	10	3	133.3%
その他	3	5	8	5	4	200.0%

(単位：億円)

	2022年度			
	見通し			
	期初 a	11月	今回(2月) b	増減 b-a
<b>受注高</b>	<b>5,000</b>	<b>5,800</b>	<b>6,600</b>	<b>1,600</b>
環境	3,500	4,300	5,100	1,600
機械・インフラ	900	900	900	0
脱炭素化	520	520	520	0
その他	80	80	80	0
<b>売上高</b>	<b>4,400</b>	<b>4,800</b>	<b>4,800</b>	<b>400</b>
環境	3,000	3,370	3,370	370
機械・インフラ	870	880	880	10
脱炭素化	450	470	470	20
その他	80	80	80	0
<b>営業利益</b>	<b>200</b>	<b>200</b>	<b>200</b>	<b>0</b>
環境	165	165	165	0
機械・インフラ	28	28	28	0
脱炭素化	3	3	3	0
その他	4	4	4	0

（単位：億円）

環境事業（全体）	見通し				修正理由
	2022年度				
	期初 a	11月	今回（2月） b	増減 b-a	
<b>受注高</b>	<b>3,500</b>	<b>4,300</b>	<b>5,100</b>	<b>1,600</b>	次ページ 参照
EPC(新規建設)	2,100	2,400	2,980	880	
継続的事業	1,400	1,900	2,120	720	
<b>売上高</b>	<b>3,000</b>	<b>3,370</b>	<b>3,370</b>	<b>370</b>	
EPC(新規建設)	1,680	1,800	1,800	120	
継続的事業	1,320	1,570	1,570	250	
<b>営業利益</b>	<b>165</b>	<b>165</b>	<b>165</b>	<b>0</b>	
EPC(新規建設)	50	55	45	-5	
継続的事業	115	110	120	5	

# 2022年度 業績見通し：環境事業（内訳）

(単位：億円)

環境事業 (Inovaを除く)	2022年度				
	見通し				修正理由
	期初 a	11月	今回(2月) b	増減 b-a	
<b>受注高</b>	<b>2,050</b>	<b>2,550</b>	<b>2,900</b>	<b>850</b>	
EPC(新規建設)	800	950	1,060	260	下期も引き続き順調、期初予算を超過する見通し。
継続的事業	1,250	1,600	1,840	590	国内AOM、長期運営、売電事業（燃料費調整、価格アップなど）。
<b>売上高</b>	<b>1,850</b>	<b>2,090</b>	<b>2,055</b>	<b>205</b>	
EPC(新規建設)	650	720	685	35	
継続的事業	1,200	1,370	1,370	170	順調な受注及び進捗、売電事業（燃料費調整など）、海外子会社円安効果。
<b>営業利益</b>	<b>110</b>	<b>105</b>	<b>96</b>	<b>-14</b>	
EPC(新規建設)	0	0	-15	-15	補償工事費、進捗遅れなど。
継続的事業	110	105	111	1	

## Inovaグループ

<b>受注高</b>	<b>1,450</b>	<b>1,750</b>	<b>2,200</b>	<b>750</b>	
EPC(新規建設)	1,300	1,450	1,920	620	大型案件は上期の2件に加えて、下期も1件確定。
継続的事業	150	300	280	130	Steinmüller、Schmackの増加など。
<b>売上高</b>	<b>1,150</b>	<b>1,280</b>	<b>1,315</b>	<b>165</b>	
EPC(新規建設)	1,030	1,080	1,115	85	手持ち工事が順調に進捗。
継続的事業	120	200	200	80	買収したSteinmüllerの売上貢献など。
<b>営業利益</b>	<b>55</b>	<b>60</b>	<b>69</b>	<b>14</b>	
EPC(新規建設)	50	55	60	10	手持ち工事が順調に進捗。
継続的事業	5	5	9	4	アフターサービスの収益性が改善。

(単位：億円)

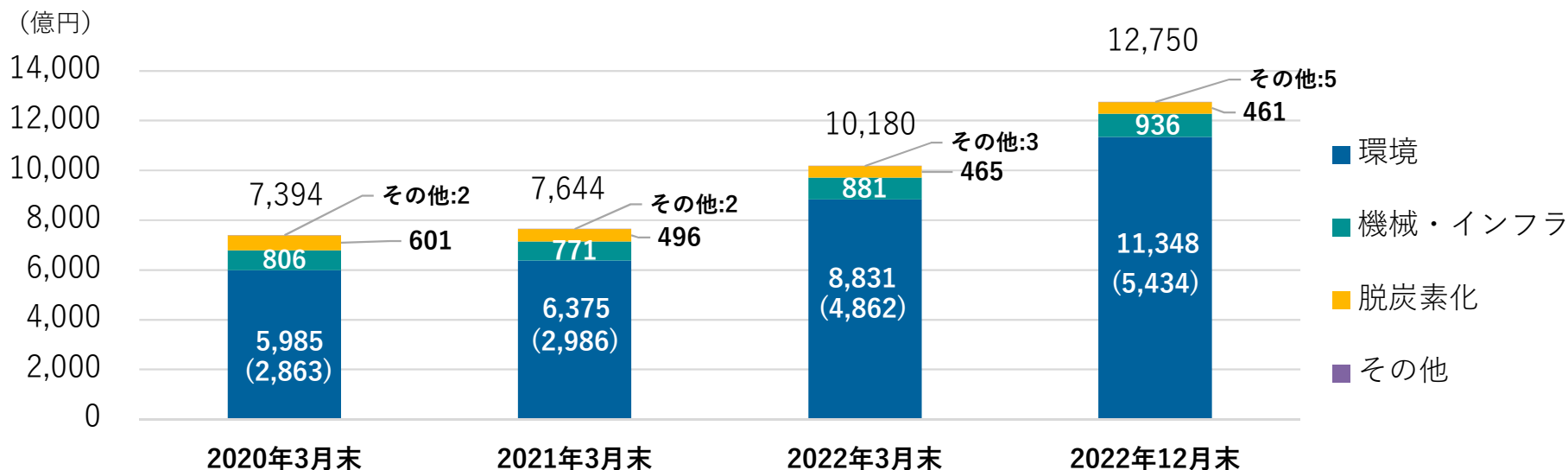
機械・ インフラ事業	2022年度				
	見通し				修正理由
	期初 a	11月	今回(2月) b	増減 b-a	
<b>受注高</b>	<b>900</b>	<b>900</b>	<b>900</b>	<b>0</b>	
プレス	170	170	170	0	
精密	320	320	320	0	
その他機械	150	150	150	0	
インフラ	260	260	260	0	
<b>売上高</b>	<b>870</b>	<b>880</b>	<b>880</b>	<b>10</b>	
プレス	150	150	150	0	
精密	320	330	330	10	半導体関連が好調。
その他機械	140	120	120	-20	日本プスネス社の株式譲渡（22年9月）に伴う減少。
インフラ	260	280	280	20	シールド時期ずれ（前年度から）、橋梁の受注増。
<b>営業利益</b>	<b>28</b>	<b>28</b>	<b>28</b>	<b>0</b>	
プレス	3	4	4	1	コストダウン・固定費削減など。
精密	15	16	16	1	半導体関連が好調。
その他機械	5	3	3	-2	日本プスネス社など。
インフラ	5	5	5	0	



(単位：億円)

脱炭素化事業	2022年度				
	見通し				修正理由
	期初 a	11月	今回(2月) b	増減 b-a	
<b>受注高</b>	<b>520</b>	<b>520</b>	<b>520</b>	<b>0</b>	
エンジン	200	200	200	0	
プロセス	150	150	150	0	
PtG	30	30	30	0	
風力	140	140	140	0	
<b>売上高</b>	<b>450</b>	<b>470</b>	<b>470</b>	<b>20</b>	
エンジン	240	240	240	0	圧力容器の順調な受注及び進捗による増加、海外子会社円安効果。
プロセス	180	200	200	20	
PtG	20	20	20	0	
風力	10	10	10	0	
<b>営業利益</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>0</b>	
エンジン	0	-7	-7	-7	資材費高騰の影響。今治造船との協業など、採算改善に向けて取組み中。
プロセス	2	9	9	7	圧力容器の当期海外受注案件など。
PtG	1	1	1	0	
風力	0	0	0	0	

## 受注残の推移

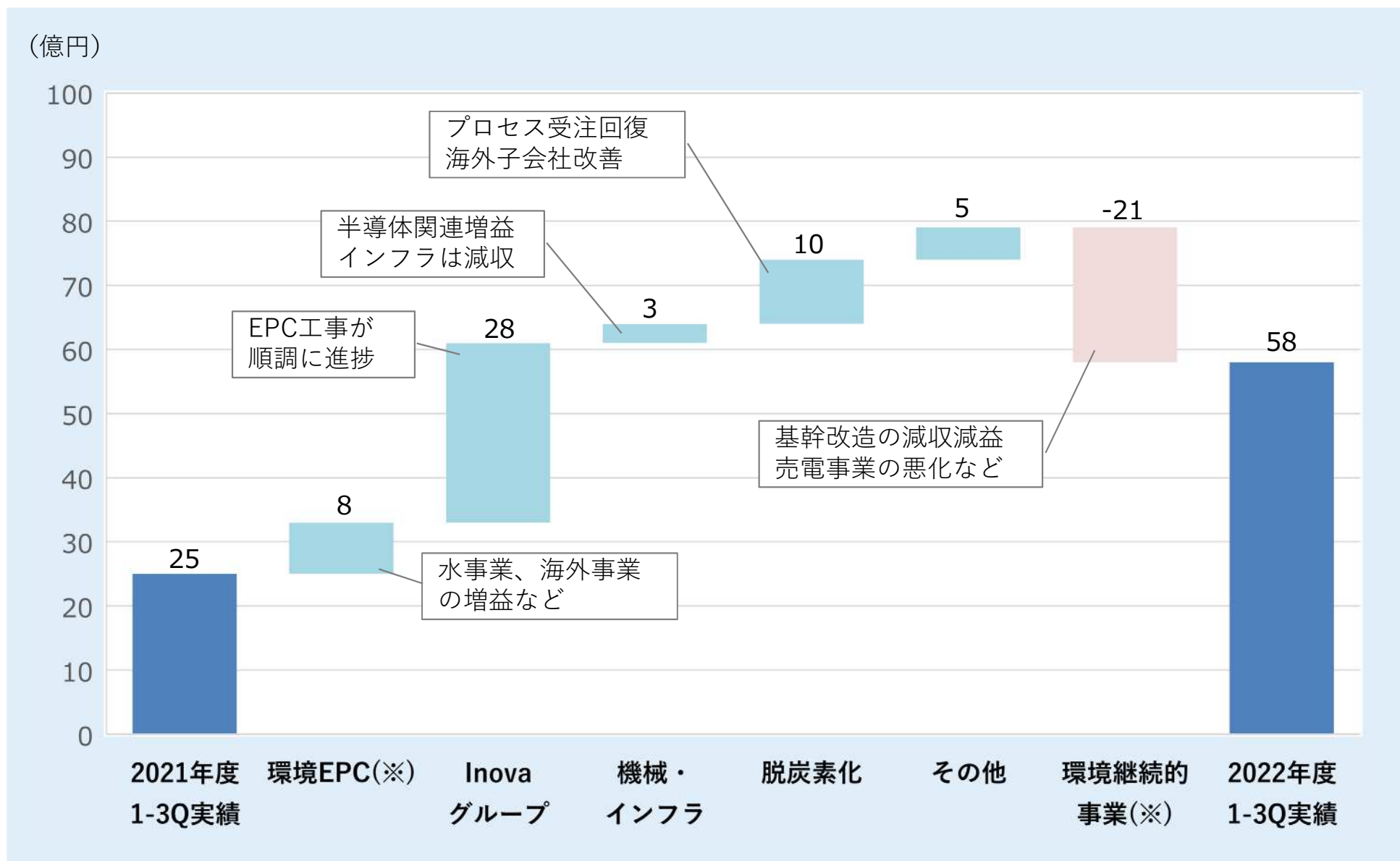


( ) 内は、環境に含まれる長期運営の受注残

## 受注残の年度別売上高展開

(億円)

	受注残	2022年度 (2021年度)	2023年度 (2022年度)	2024年度 (2023年度)	2025年度～ (2024年度～)
2022年12月末	12,750	1,485	3,295	2,112	5,858
2021年12月末	10,318	(1,405)	(2,347)	(1,446)	(5,120)
増加額	2,432	80	948	666	738



※Inovaグループを除く

# 2022年度 第3四半期決算 連結貸借対照表

(億円)

	2022年3月末	2022年12月末	比較
現金及び預金 (a)	672	840	168
営業資産	2,043	1,721	- 322
受取手形、売掛金及び契約資産	1,898	1,468	- 430
棚卸資産	145	253	108
有形・無形固定資産	1,220	1,164	- 56
その他	676	670	- 6
資産の部 合計	4,611	4,395	- 216
営業負債	1,009	1,079	70
支払手形及び買掛金、電子記録債務	718	615	- 103
契約負債 (前受金)	291	464	173
有利子負債 (b)	919	891	- 28
借入金(リース債務を含む)	619	591	- 28
社債	300	300	0
その他	1,354	1,131	- 223
負債の部 合計	3,282	3,101	- 181
自己資本	1,313	1,278	- 35
非支配株主持分	16	16	0
純資産の部 合計	1,329	1,294	- 35
負債・純資産の部 合計	4,611	4,395	- 216
自己資本比率	28.5%	29.1%	
ネット有利子負債 (b)-(a)	247	51	- 196

(億円)

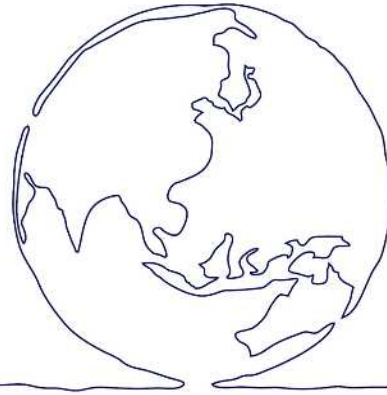
	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	218	256	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	- 70	- 64	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	- 85	- 37	48
現金・現金同等物の増減額※	66	167	101
現金・現金同等物の期首残高	458	659	201
現金・現金同等物の期末残高	524	826	302

※為替換算差額含む (2021年度3Q：3億円, 2022年度3Q：12億円)

(億円)

	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 見通し
総資産	4,095	4,293	4,611	4,800
現金及び預金	429	473	672	770
自己資本	1,180	1,264	1,313	1,410
自己資本比率	28.8%	29.4%	28.5%	29.4%
ROE	1.9%	3.5%	6.1%	8.5%
有利子負債	996	981	919	870
研究開発費	69	66	61	80
設備投資	103	108	80	100
減価償却費	101	102	107	100

貸借対照表の項目は、各年度末の数字



# 地球と人のための技術をこれからも

日立造船はつないでいきます。かけがえのない自然と私たちの未来を。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

**Hitz**

Hitachi Zosen

日立造船株式会社

<https://www.hitachizosen.co.jp/>